「地域住民による支え合い ~志摩市あんしん見守りネットワーク~」

志摩市ふくし総合支援室 前田小百合 浦口鎮男

問題意識

地域における福祉の担い手といえば、民生委員・児童委員が最初に思い浮かぶ。行 政も社会福祉協議会も、「見守り活動の担い手」「いきいきサロン活動のスタッフ」「ボ ランティア活動のスタッフ」など民生委員・児童委員にいくつもの役割を担わせてき

しかし、時代と共に地域社会が大きく変容する中で、一人暮らし高齢者や認知症高 齢者、近隣とのつきあいを拒否する高齢者が増加し、民生委員・児童委員であっても 世帯状況の把握さえ難しくなってきた。また障害者や児童、生活困窮世帯の問題にな ども抱える民生委員・児童委員が、すべての役割を担うのは不可能に近い。

そこで、福祉にまったく関心のない人であっても普段業務として行っていることが 地域の見守りに役立つことを説明し理解が得られたら、その力を借りて新たな支援の 輪ができるかもしれないと考えた。限られた人や機関が福祉に携わるのではなく、福 祉と無関係の企業や人々などが緩やかに見守りに携わることは、新たな支え合いの形 ではないだろうか。

2 取組内容

(1) 志摩市あんしん見守りネットワークの構築

このネットワークは、地域で暮らすすべての人々を福祉コミュニティづくりのための 社会資源と考え、困りごとのある人や支援の必要な家庭を、日常業務や普段の暮らしの 中で地域のみんなで見守り支えていこうというものである。

「あんしん見守り協力員」に登録している自治会や民生委員・児童委員、金融機関、 商店など数多くの地域の関係者と協力・連携を図り、地域に密着した見守りを行うこと で市民一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりを目的にネットワークの構築を図っ ていく。

①あんしん見守り協力員の主な役割

- ・高齢者や子ども、障がい者などへの虐待の早期発見・防止
- 生活困窮や困りごとがあっても訴えることのできない家庭の早期発見
- ・認知症のある徘徊高齢者の安全確保
- 孤立死防止のための独居高齢者に対する安否確認

②あんしん見守り協力員登録者

登録者数:768人(平成21年11月18日現在)

(地区別内訳数)

- ・浜島地区 58 人 ・大王地区 63 人 ・志摩地区 149 人
- ・阿児地区 303 人 ・磯部地区194人 ・その他1人

(職種別内訳数)

- ・自治会 199 人 ・民生委員・児童委員 179 人(元民生委員・児童委員含む)
- ・金融機関 87 人(銀行 26 人・JA32 人・漁協 15 人・郵便局 14 人)
- ・商工関係 107 人・老人クラブ 45 人・福祉委員 27 人・医療機関 43 人
- ・介護事業所 15 人 ・一般住民 56 人 ・その他 10 人

◆協力者証の見本



協力量証

平成

 第
 号

 年
 月
 日交付

所属所名 <u>氏 名</u>

上記の者は、志摩市あんしん見守り協力員であることを証明する。

志摩市長 〇〇 〇〇

私たちは、高齢者・障がい者・子どもたち が安心して暮らせるように地域の見守り に協力します。

【連絡先】

志摩市ふくし総合支援室 (志摩市福祉事務所 内) Tm 0599-44-0280

③徘徊のある認知症高齢者の安全確保

認知症による徘徊高齢者の情報を事前に登録することにより、行方不明になってもあんしん見守り協力員や各関係機関へ情報提供をスムーズに行い、早期発見への対応に努めることができる。

また、この事前登録の申込みによる情報については、鳥羽警察署にも情報共有を図る ために事前に情報提供を行っている。

◆登録者へ志摩市あんしんネームの無料配布

【あんしんネームの見本】



あんしんネーム

<u>NO.</u> 【志摩市あんしん見守りネットワーク】

氏 名 福祉 花子(ふくし はなこ)連絡先 0599-△△-○○○

本人がお困りのようなら、ご連絡ください。 発行者; 志摩市ふくし総合支援室 TELO 5 9 9 - 4 4 - 0 2 8 0

(2) 民生委員による「あんしんカード」の配布(単位民児協別に実施)

一人暮らしの高齢者が、急に具合が悪くなり病院へ緊急搬送されたときや自宅で倒

れていたなどの緊急時に、すぐに主治医や親族に連絡が取れるように民生委員・児童 委員が対象者宅に「あんしんカード」を配布している。

①あんしんカードの内容(例)

- ・火事・救急車 119
- ·警察110
- ・自宅(氏名・生年月日・住所・TEL)
- ·緊急連絡先 TEL××××
- かかりつけ病院(医院)Tu××××
- 志摩市Tu ××××
- · 志摩市社会福祉協議会 TEL××××
- ・ごみ (可燃物・不燃物) Tel××××
- ·担当民生委員 TELXXXX

※救急隊には、一人暮らし高齢者の自宅の場合は、このカードが置いてあるので、内容を記録してもらいたいと地域連携推進会議(参照:32「地域包括支援センターによる医療連携に向けたケアマネジャー支援」)を通して説明している。



3 課題 - 提言

あんしん見守りネットワーク構築によって、それまで年間 12、13 人あった徘徊高齢者の捜索が皆無となった。地域の見守りが進み、道や店舗で迷っている人を速やかに自宅へ送り届けることができるようになってきた。また、平成 18 年度~20 年度の高齢者虐待通報・相談は、県下でもっとも多く掘り起こしが進んでいる。

こうしたネットワークは、「協力してください」とお願いして協力員の名前だけを増 やしても意味がない。地域の現状・課題を市民に投げかけ、市民が自分たちの問題と して共通認識し、「私たちにできることは何か」と主体的に考えることで動き出す。

そうなるには、行政が必要な情報提供を行ったり、知識習得の機会をつくったりしていくことが求められる。また、成功事例を丁寧に伝えていく(発信していく)ことで、ネットワークが維持・強化が図られる。

「他人のことには口出ししない」が当たり前の現代社会では、孤独死や虐待死、介護心中などの前兆に気づけないことが多い。気づいていても無関心を装っていることもある。日常の地域の異変に気付くのはまず近隣住民であり、日々家庭に出入りする金融機関の渉外担当職員であり、回覧板を届ける自治会員であり、郵便局員などである。昔ならどこにでもあったおせっかいな関係を見直し、「おかしいなと思ったら連絡を」「ちょっと困っていそうなら声かけを」という見守り活動を進めることが必要である。

そして、この活動の目的があくまでも緩やかで温かな見守りであることを協力員に繰り返し強調することで、地域の監視にならない安心感をもたらす。

立ち上げようとする者が金融機関や商店、自治会など労力を惜しまず直接出向き、 見守り協力員の目的を伝え参画依頼をすれば、どこの市町でも実現できるネットワークである。

市と連携を

ん見守り協力回」となり、日常業務や

生活の中で地域を目配り。

・ 年六月現在では約七百七 確認ーなど。気になる家 密長は「発見率としては む百人だったのが、今 確保>独居高齢者の安否 相長寿社会室の古田一生

国府郵便局の水谷昭仁局

協力員に登録する何児

主な役割は、高齢者や し総合支援室に連絡す いか。 (地域ぐるみの見 守りで、網の目を細かく

子ども、陸街舎への要待る。

底を見つけたら、市ぶく 日本一といるののではな 長さらは、高齢者らの預 成果として顕著なのが し、しっかり価値が上が 待がないか気を付けるこ 配りを心掛けている。 とはもちろく שといる されるといった経済的概 金が家族に勝手に引き出

つなけている。 った人が「あんし 〇七年に横舞、自和会や



高齢者ら支援の必要な人や家班を助

域で見守る、志摩市の「市あんしん見

守りネットワーク」が成果を挙げてい

際に次ぐ多さだ。 **心深くかかわる介護専門 なら、支援が必要な家庭 助けのための第一歩。ち** 認定件数の多さは、歯 ら年期数百件あるとい 関係をつくり直すための

時の発見率が高い証拠。 の情報提供が、協力員かょっとおせっかいな購入

4 見聞、

見聞いせしま

27

仕掛けです」と帰調する

しん見守りネット 岡ネットワークは一〇

の関係者が登録。当初、発見や体器高齢者の安全で、売商市の〇七年度の特徴。「住民単位で定遇 店、医療など協広い分野 困り事のある家庭の早期 高齢者虐待の早期発見 ってくるのは理想的」と 民生委員、金融機関、商の早期発見7年店田期や 臺市虐待早期発見に成

かったりせると、「何か

って場を訪れる人が来な

年金の侵給目に挟ま

定件数も五十四件と前内 トップ。このうち虐待認 概念体の約五分の一を占 受理性数は八十二件で、 め県内自治体で断トツの 高齢者虐待の相談・通報 付けができている」と目 りします。 異変があれば のも志摩市の特色。ふく されなかった件数が多い **香物** 通報のうち動待と認定る。それにどう気付く か」と心臓えを話す。 何らかのシグナルが出 あったかな、上気むた 志摩市の高齢化率は今

し総合を積率の社会福祉 年三月に30%を突破し

-361 -

参考:認知症高齢者を地域で支えるまちづくり

志摩市あんしん見守りネットワークへ 登録しませんか

「天気が良いから、ちょっと散歩をしてこよう」「知り合いの家まで出かけてくるよ」と家から出ていった高齢者が自宅へ戻れず、不安そうに道を歩いていることがあります。認知症が進んできて、家族が目を離したすきに自宅からいなくなってしまうこともあります。それは他の人から見れば徘徊(はいかい)と呼ばれますが、知らない場所に迷い込んでしまった本人の不安は大きいのです・・。

・・ 事前登録をオススメします(写真をお預かりします)

外出して家へ戻ることに不安のある高齢者の方について、市へ登録しませんか?(プライバシーは守られます)

「うちのおばあちゃんは、こんな特徴があります」

「うちのおじいちゃんは、こんな場所へ行く可能性があります」

と写真を添えて登録していただくと、いなくなったときも鳥羽警察署と 協力し、すぐ探し始めることができます。

🕟 安心カードを持ちませんか

外出して家へ戻ることに不安のある高齢者の方に、名刺タイプの「安心カード」を無料配布しています。住所や名前を書いてポケットに入れておけば、自分の名前や家の場所が言えなくても、保護した商店や事業所から自宅へ連絡を入れてもらうことができます。

★認知症は病気の症状を指す言葉です。認知症を正しく理解し、地域の力で見守って いきましょう。

お問い合わせ先: 志摩市ふくし総合支援室 (TEL 44-0280)

志摩市あんしん見守りネットワーク事前登録申込書

申請者氏名		ふりがな		
		本人との関係(
住 所				
連絡先TEL		自 宅 () 勤務先 ()		
Į.	主心 儿 一 二 二	携帯區 ()		
申請者以外の連絡 先		氏名 TEL ()	
		氏名 TEL (氏名 TEL ()	
	登録者氏名	ふりがな	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		(旧姓)		
		生年月日(M・T・S 年 月 日生)	男・女	
	住 所	志摩市 TEL ()		
	特徵	身長センチ	出身地	
		体重		
本人の状況		頭髪 □白髪・□白髪まじり・□()	元の職業	
		義歯 □全部義歯・□一部義歯・		
		□義歯なし□義歯はあるが使っていない		
		その他:できるだけ具体的に記載願います。		
	かかりつけ	写真添付欄		
	医療機関			
	服薬中の薬			
	今までに患っ			
	たことのある			
	病気について 現在関わりあ			
	る関係機関等			

○ネットワークの利用に関して、下記の事項を認めます。

- 1 利用者の発見依頼書における個人情報が協力機関・団体に提供されること。
- 2 利用者の発見時の状態が保護又は医療を要する場合、社会福祉施設又は医療機関に必要な情報を提供すること。

あんしん見守り協力員さん、見守りお願いシート

	見守りをお願いします (迷ったときは、ふくし総合 支援室へお電話ください)	今すぐ!! ふくし総合支援室(44-0280)へご相談ください
生活に困っている。	□近隣とのつきあいがない □親族とのつきあいがない □生活環境が悪い □いつも同じ服を着ている	□家にいるはずなのに、しばらく顔を見ない □衣類が汚れたままになっている □昼間でも雨戸が閉まっている □新聞、郵便物がたまっている □電気。ガス、電話が止められている □夜遅くなっても、家の明かりがつかない □食べるものがほとんどない □最近、目立ってやせてきた □「おなかが空いた」と訴える
年金が自 由につか えないの かも?	□身体が悪くないのに、子ど もが働いていない □以前よりも生活が質素になった	□通帳や印鑑を盗られたと訴える □年金があるのに、お金がないと訴える □持病があるのに、医療機関に通院しなくなった □お小遣いを持っていない □介護が必要なのに、介護サービスを使わない □ふらふらになって歩いている
家族のこ とで困っ ているの かも?	□介護者が病気 □介護者に障害がある □介護者と高齢者が長年不仲である □ひとり暮らし □2人暮らし □介護者が朝から酒を飲む	□ケンカばかりしている □高齢者に冷たい発言や態度をとる □家族内での暴力行為がある □「高齢者が施設に入れてくれ」と言う □介護者が、「介護が大変、疲れた」と言う □どなり声が聞こえる日が多い □泣き声が聞こえる日が多い
認知症がってかまってから、	□車の運転が危ない □少しもの忘れが目立つ □同じことを繰り返してしゃ べっている □ゴミの分別ができない □会話が通じにくいと感じる	□ヒゲ、髪、爪が伸びたままになっている □顔や手足に内出血や傷がある □ゴミがあふれてイヤな臭いがする □夜間に出歩いたり、道に迷ったりしている □同じ物をいくつも(何度も)買っている □知っている人に、初対面のあいさつをする。 □通帳やお金をなくす、管理できない □近所の人や店とのトラブルが増えた □同じ用件で、何度も電話をしてくる □不審者が出入りしている